東秩父中学校だより

村の宝（子ども）が輝く学校

令和８年７月１７日
第　５　号
文責　田端　隆二

ないものはない　～１学期終業式より～

この一学期69日間で、頼もしく成長した皆さんを、校長として大変うれしく、そして大きな幸せを感じます。 私の中で特に強く印象に残っているのは、体育祭です。

本校始まって以来の少ない生徒数での体育祭ですが、体育祭を通して「良い関わり」「良い交流」がたくさん生まれました。「良いかかわりを通してお互いに成長してほしい」というのは私の願いです。

特に印象に残っているものを紹介します。3 年生のある生徒の具合が悪くなり、保健室で休む場面がありましたが、その時の3年生は青団、赤団関係なく「大丈夫？」と様子を見に来てくれました。また、前日にはある2年生が早退する場面では「明日は楽しもうね。」と声をかけてくれたのは3年生だそうです。

その他にも、少ない3年生をしっかりカバーした2年生、元気一杯盛り上げた１年生、一緒に楽しんでいただいたPTAの皆さん、秩父音頭の復活にご協力いただいた百瀬さんや地域の方、他にもたくさんのかかわりが見られ、小さな学校ならではの体育祭ができました。 感謝！

さて、話は変わりますが、村の広報によると、村の人口はとうとう2300人を割ったようです。子どもの数も減っていますが、村の人口もすごい勢いで減っています。大丈夫でしょうか。

3年前にも一度紹介しましたが、私は島根県にある離島、隠岐の島の海士町というところに小川町のある事業の一環で視察に行ったことがあります。

隠岐の島には島内唯一の高校、隠岐島前高校という学校がありますが、島民の少子高齢化のため、かつては廃校の危機に陥りました。

島に高校がなくなると、子どもたちは中学を卒業すると島を離れることになります。学校と病院がなくなれば人口の流出は止められない。高校の廃校は島の存亡にかかわると、島の人たちは団結して高校の魅力化を図り、それを柱に地域・産業の活性化に取り組みました。その結果、その高校へは全国から集まるようになり、廃校を免れたばかりか、島の魅力が再発見され卒業して一度島外へ出た人たちが島のために戻ってきて新しい事業を起こすまでになったそうです。

その海士町のキャッチフレーズが、「ないものはナイ」です。「あれが無い、これが無い」と嘆いたところで何も進まない。「無いものはなくて良い。むしろ、無いからこそ良い」ということです。私にとっては「無ければつくれ」につながる発想だなと思いました。

また、「本当に大切なものは全てある」という意味もあるそうです。無いと思い込んでいるだけで、本当は探せていないだけかもしれません。さらには、「あるものをもっと生かせ！」ということなのでしょう。これからの可能性にかける思いが強く感じられる力強い言葉だと思いました。

この村も隠岐の島と同じです。様々な魅力があります。何もないのも魅力です。何もないということは、可能性は限りなくある、ということでしょう。

仕事が無いから若い人が村を出ていくと言われますが、小さな学校でもここでしかできないことを、この地域で学んでいければ、いずれここを巣立った皆さんの中には隠岐島前高校の卒業生の様に、この村でできる新しい仕事を始める人が現れるのではないでしょうか。



生徒総会



６月17日、３年生議長、２年生副議長の進行により、生徒総会が行われました。生徒会本部や各委員長から昨年度の活動報告と今年度の活動方針の提案、各学年からは、学年目標や学級のシンボルとしての掲示物等が紹介されました。

そして、東秩父中学校をよりよくするためにと、１年生代表、２年生代表、３年生代表がそれぞれ意見発表をしてくれました。また、校則検討委員会からは、靴下や髪を止めるゴムやピンも本人の判断にゆだねると提案されました。生徒の手による生徒のための学校創りが、また一歩進んだことを嬉しく思います。

卒業証書は自分の手で・・・！

今年度も和紙の里のご協力により、総合的な学習の時間で、３年生の手漉き和紙による卒業証書の制作が行われました。今年度は昨年度以上にしっかりと練習に時間をかけることができました。今年度のものは楮に松脂を混ぜるなど手を加えていただき、昨年度のものより厚くて墨がのりやすくしていただきました。仕上がりが楽しみです。







健康第一！～保健委員会より～



７月９日生徒朝会で保健福祉委員会から骨について発表がありました。前半はプレゼンテーションを用い、人の一生の中での骨の数の推移や、クイズがありました。後半は、歯の標語の優秀作品の表彰がありました。投票の結果、１年生の作品（歯みがき　毎日すると　モテちゃうよ）が最優秀に選ばれました。おめでとうございます。

七夕が飾られました



７月７日の七夕にちなみ、Ｂ組・Ｃ組の生徒たちが七夕を昇降口に飾ってくれました。全校生徒に職員も加わり、短冊には様々な願い事が書かれていました。中には、「気になる人が振り向いてくれますように」など、思春期真っ只中の中学生ならではの願い事もあり、微笑ましく思いました。その他にもたくさんの願い事がありましたが、かなうといいですね。なお、飾りに使用した竹は　３　年生のご自宅にご協力いただき、提供していただきましたので、ご紹介いたします。

途中人事について

現在育児休業を取られている養護教諭が８月１日より復職します。それに伴い代員を務めていただいた養護教諭の任期が満了となります。保健室での様々な対応だけでなく、様々なところで本校の生徒の健やかな成長のために取り組んでいただきました。ありがとうございました。なお、復帰の養護教諭は８月中に再び産休に入られますのでお伝えいたします。